

平成18年第6回教育委員会記録

平成18年4月26日（水）

杉並区教育委員会

教育委員会記録

日 時 平成18年4月26日(水) 午後2時02分～午後2時15分

場 所 教育委員会室

出席委員 委員長 丸田 頼一 職務代理者 宮坂 公夫
委員 大藏 雄之助 委員 安本 ゆみ
教育長 井出 隆安

欠席委員 (なし)

出席説明員 事務局次長 佐藤 博継 学校適正配置長 小澄 龍太郎
担当部

庶務課長 松岡 敬明 学校適正配置長 吉田 順之
担当課

杉並師範館長 田中 哲 学校運営課長 井口 順司
担当課

学務課長 渡辺 幸一 指導室長 種村 明頼

社会教育課長 赤井 則夫 科学館長 渡邊 昇
スポーツ課

済美教育一長 植田 敏郎
済セソ 根本 信司 済美教育一長
所 副所

中央図書館長 原 隆寿 中央図書館長 齋木 雅之
中次

事務局職員 庶務係長 小今井 七洋 法規担当係長 石井 康宏
担当書記 佐藤 守

傍聴者数 3名

会議に付した事件

(議案)

議案第40号 杉並区文化財保護審議会委員の委嘱について

(報告事項)

(1) 平成18年度区立幼稚園園児在籍状況

目 次

会議録署名委員の指名について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

議案審議

議案第40号 杉並区文化財保護審議会委員の委嘱について・・・・・・・・ 3

報告事項

(1) 平成18年度区立幼稚園園児在籍状況・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

委員長 では、定刻になりましたので、ただいまから第6回教育委員会定例会を開催いたします。
ご多忙のところ、お集まりいただきましてありがとうございます。

本日の議事録の署名委員は大蔵委員にお願いいたします。本日の議事日程はご案内しましたように、議案が1件、報告が1件となっております。

では、議案の審議に入ります。日程第1、議案第40号「杉並区文化財保護審議会委員の委嘱について」を上程し、審議させていただきます。社会教育スポーツ課長からご説明をお願いいたします。

社会教育スポーツ課長 議案第40号「杉並区文化財保護審議会委員の委嘱について」、右の議案を提出する。平成18年4月26日。提出者、杉並区教育委員会教育長、井出隆安。

1枚目をおめくりください。

次の者を、杉並区文化財保護審議会委員に委嘱する。平成18年5月17日付け。

東京都狛江市中和泉三丁目、稲葉和也。東京都世田谷区赤堤二丁目、江坂輝彌。東京都杉並区荻窪五丁目、大谷光男。東京都東久留米市弥生二丁目、岡田芳朗。東京都武蔵野市境南町二丁目、倉石あつ子。千葉県佐倉市上座、水藤 眞。東京都杉並区荻窪一丁目、関口正之。東京都小平市花小金井南町二丁目、永井信一。東京都杉並区西荻北四丁目、森 安彦。

提案理由でございます。任期満了に伴い、新たに委嘱する必要があるということでございます。以上でございます。

委員長 では、ただいまのご説明に関しまして、ご質問、ご意見ございましたらお願いします。
ございませんでしょうか。

今回委嘱する方で、新任と再任の種別というのはございますでしょうか。

社会教育スポーツ課長 全員、第12期からの再任でございます。

委員長 全員が再任ですか。

社会教育スポーツ課長 はい。

委員長 では、ほかにございませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

委員長 では、議案第40号は、原案どおり可決して異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声)

委員長 異議がございませんようですので、原案どおり可決いたします。

引き続きまして、日程第2、報告事項の聴取に入らせていただきます。「平成18年度区立幼稚園園児在籍状況」についてのご説明を学務課長からお願いいたします。

学務課長 それでは、私より「平成18年度区立幼稚園園児在籍状況」についてご報告を申し上げます。

す。こちらの人数につきましては、18年4月10日現在の数字でございます。園別、あと4歳、5歳別に表を作っております。それぞれの数字については、記載のとおりでございますけれども、昨年度との比較ということで、若干ご説明を申し上げます。4歳児の今年度の合計ですが、男児125名、女児142名、計267名ということでございます。定員比につきましては69.5%でございます。昨年は、この定員比につきましては76.8%という数字でございました。若干減少という結果でございます。5歳児につきましては、本当該年度につきましては、記載の数字でございますけれども、定員比は昨年と同様で81.0%と変わりはありません。

また、園合計、4歳、5歳合計でございますけれども、男児287名、女児291名、合計578名ということで、今年度の定員比は75.3%でございます。こちらも同様に昨年でございますけれども、園児の合計が606名ございまして、昨年の定員比は78.9%ということで、若干減少しております。

この若干減少した母数が少のうございますので、あまり有意的な分析が、なかなか難しいんですけれども、充当人口を見ましたところ、3歳児は、昨年17年4月1日時点で3,232名に対して、今年度の4月1日につきましては3,150名ということで減っております。そういったものとの関連性というのがあるのかなというふうにも考えてございます。

私からは、以上でございます。

委員長 では、ただいまのご説明に対して、ご質問、ご意見ありましたらお願いいたします。

宮坂委員 全般的な減少は少子化の影響かなと思いますが、園別にちょっとばらつきがあるのは何か理由があるんですか。たまたま、ほかに比べパーセンテージの上で、下高井戸、高円寺北が比較的少なくて、偶然そうっただけなのか、何か理由みたいなものが考えられるのですか。

学務課長 私の方もちょっといろいろ考えてみたのですが、特段この原因となるような要素というのは、今のところ思いつかないというところでございます。

委員長 ほかにございますか。

大藏委員 高円寺北は、小学校と一緒にして成果が上がっているという話で、5歳児は73.4%ですから、それを引きずっているのかもしれませんが。今年度の4歳時は、どんと下がっているんですね。今の学務課長の説明からは、特段要因がないというようなことですがけれども、何か多少はあるんじゃないですか。

学務課長 おっしゃるとおり、高円寺北につきましては、昨年度より、幼・小連携のモデルということで実施しております。確かに、杉四小につきましては、17年、18年と比べますと、入学者が1年で増えた。そういった1つの成果の一端なのかなという現象もございますけれども、逆に、こちらがこういった結果になっておりまして、これにつきましては、まだ今回で2年目というこ

とでもございますので、連携教育の教育内容がさらに今後進む中で、また違った形態になるのかなと思っております。

委員長 では、ほかにありましたら。

今の件なんですけれども、幼・小連携というような場合、せっかくいろいろ時間を割いたり、また、設備投資したりとかなり密度の濃い手当てがなされていますよね。そういった投資効果というのはどうなっているのかというのを、ずっと追っていかなければいけないのだけれども、今後の研究課題として、他区でも同様のことをやっているわけですし、どういう現状なのか、その辺の情報を集めて、また今後、どういう対策を講じていかなきゃいけないのかというのは、絶えず答えを用意しておかなきゃいけないのではないかなと思うんですけれども、いかがでしょうか。

学務課長 まさにご指摘のとおりだと存じます。いずれにしましても、今年度につきましては、幼・小連携も含めましたモデル事業をさらに拡充する中で、1年、2年目ということで、先行事例としての状況を十分に分析いたしまして、しっかりと今後の推進を図ってまいりたいというふうに考えてございます。

委員長 ほかにございませんでしょうか。

(「なし」の声)

委員長 では、ほかにございませんようでしたら、報告を承ったことにいたします。

以上で、報告事項の聴取を終わらせていただきます。

本日は、議案と報告事項の件数が少なく、予定されました日程、これですべて終了いたしました。庶務課長、何かほかにごございましたらお願いします。

庶務課長 それでは、次回の日程でございますけれども、次回5月10日でございますが、特別な案件等がなければ、定例会を休会とさせていただきたいと考えております。したがって、次回は5月24日水曜日の午後2時から定例会を予定しております。よろしく願いいたします。

委員長 よろしゅうございますか。よろしく願いいたします。

では、これもちまして、本日の会議を閉じさせていただきます。ありがとうございました。